

和歌山大学教育学部附属特別支援学校 学校運営協議会

令和7年度第2回 12月8日(月) 10:00~12:00

出席者:委員6名(土橋委員、山路委員欠席)、事務局本校職員4名

次第

- 1 開会 学校長挨拶
- 2 本日の予定の確認
- 3 授業参観
- 4 報告・協議 ※時間の関係上、報告と協議の間に授業参観を実施した。
- 5 その他
 - ・今年度の学校運営協議会の開催日程
- 6 学校長挨拶 閉会

報告・協議の記録

- 校長より、学校生活での子どもの様子、取組の様子の報告①
 - ・教育と研究(研究発表会) ・人材育成(教師力・教育実習)
- 授業参観について
 - ・小学部(図画工作)、中学部(体育:ダンス)、高等部(国 OR 数学)
 - ・(小林) 図画工作は、週1.5時間。各クラスでの学習である。居住地校交流は全体の40%の児童が実施している。
 - ・(辻本) 週3体育のうち1時間はダンスである。音楽に合わせてのストレッチ、筋トレ、体の基本的な動きを学んでいる。球技ではけがの無いよう準備時間に時間を多く費やしている。3年生がリーダーシップをとり見本を見せている。チームワークや役割に力を入れている。3年生から2年生へのリーダーの引継ぎ式がある。
 - ・(小畑) 国語の縦割り5つのグループ。授業を通して色々な仲間や教師と関わる機会が多い。学びは楽しいということを知ってほしい。またできることは自分でするようにし、自立に向けて必要な力をつけるための指導をしている。ヘルプを求めるときも含めて、自己理解を促す。
- 校長より、学校生活での子どもの様子、取組の様子の報告②
 - ・地域連携と地域貢献(交流及び共同学習の取り組み、和歌山大学ビューティフルキャンパスプロジェクト、創立50周年記念式典、HPのリニューアル)
- 授業参観を受けて
 - ・(米田委員) 去年までは校内の立場で、今年は外からの立場で見させてもらった。自己理解を身につけて社会へ出ていく。それぞれの生活年齢で取り組まれている。授業の



中で工夫されている。机の配置、小学部は1対1、高等部は生徒同士で話し合いができる配置に。聞く力、共感する、話し合い活動、プレゼンなど友達の言葉への反応を毎日の授業の中で培われている。社会に出たときに発揮するために。

- (森井委員) 楽しそうな、みんな一人ひとりが発言していた。
- (谷口委員) 楽しそう。生き生きする授業をみんなと作り上げている。その雰囲気小学部、中学部、高等部とつながっていく。それが社会へとつながっていく。
- (西委員) 小学部、中学部、高等部それぞれの成長の過程を見れた。授業づくりがうまくいっている。感心した。
- (林委員) いきいきとしていた。その雰囲気も先生を作っている。その場での力を社会へつなげていってほしい。今日はどの授業も表現の授業だった。小学部は造形的表現、中学部は身体的表現、高等部は言語的表現、あと音楽的表現があるが、これはなかった。
- どんな人材を育てるか？(先生に求める、先生の姿、期待、希望を込めて)
- (西委員) 今年B型女性職員が退職した。20年前に立ち上げたが、最初はやめるということは大変なことであった。愛想をつかさされたと感じた。愛想をつかさされない事業所にしたい。(1人は力がついたので、もう一人は家の都合であった。)利用者だけでなくきちんと指導者を見てあげる。給与体系も含めて指導する立場の職員が納得する、一定水準で事業者はやめることはないが、学校も同じだと思う。先生に満足度がないと子供たちをきちっと指導できない。先生のことを重点的に考えてあげてほしい。
- (谷口委員) 人材育成もそうだが、私の職場では覚悟が必要である。なり手がいない。当事者の方の活躍の場を広げていく方が寄り添う支援ができる。ピアの活動の場、ボランティアではなく仕事として成り立つことが大事。縦のつながりでは自分たちが感じていたことを伝える。指導員としての実習は学ぶ場から指導する場になる。
- (森井委員) 親としてはそこまで考えてくれているところで働かせたい。いろんなところに実習させてくれるからよい。
- (米田委員) 一番苦勞する部分である。学校だけでなく組織ではあること。人権意識を持つ。その人権の中にベクトルを合わせる。メンターがどれだけまとめていくかと思っていたが、少しずつメンターの育成を広げていく。そのためにもやりがい、尊重しあう、リスペクトしあう。いつも肝に銘じて。制度と個別。指導する側と育てられる側。その関係性は大事である。
- (林委員) 人材育成、社会と学校。経験から学ぶということもあるが、学べる人とそうでない人もいる。自分を変えていけるか、そういう意味ではレジリエンスも教員にとっては重要である。
- (植野校長) 本校に来られる保護者の方や外部の方々からは、先輩がいろいろと教える様子を見て、通わせたいと思われの方が多くいた。そういう意味でも魅力ある職場をめざしていきたい。

